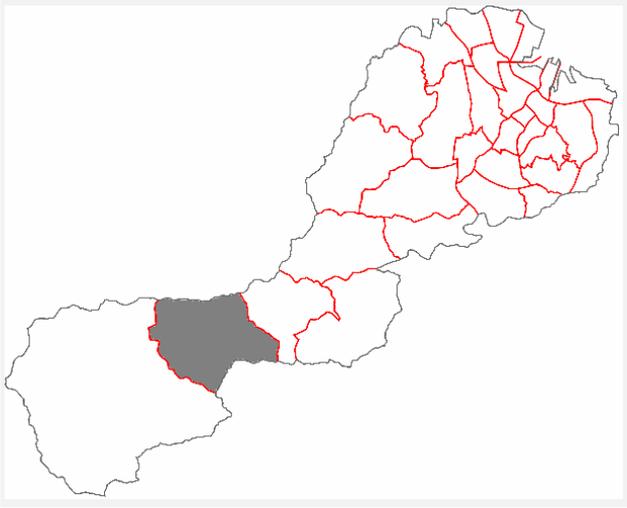


## 31 櫛田川上流川俣地域

### 1 地域の現況と課題

#### 1. 地域の概要

地域の現況					位置図			
<ul style="list-style-type: none"> <li>櫛田川上流の中山間地域であり、森林と集落地を中心とした地域である。</li> <li>土地利用の大半は山林・原野に占められており、国道 166 号沿道等に集落地が形成されている。</li> <li>林間キャンプ場などの施設が配置されているほか、三峰山、熊が池などへの登山、田引天神などの資源があり、レクリエーション拠点の形成が求められる地域である。</li> </ul>								
基礎データ					土地利用現況			
		都市計画区域		都市計画				
		市街化区域	調整区域	区域外	合計			
地域面積 (ha)		—	—	5,007.1	5,007.1			
人口	H.12	—	—	1,668	1,668			
	H.17	—	—	1,575	1,575			
	H.17/H.7	—	—	0,944	0,944			
世帯数	H.12	—	—	583	583			
	H.17	—	—	592	592			
	H.17/H.7	—	—	1,015	1,015			
人口密度 (人/h)		—	—	0.3	0.3			
		種別		面積 (ha)	構成比 (%)	備考		
宅地				30.9	0.6			
非宅地	農地				117.0	2.3		
	山林・原野				4,612.7	92.1		
	その他				246.5	4.9		
	小計				4,976.2	99.4		
合計				5,007.1	100.0			
地区別会議における主な意見								
<ul style="list-style-type: none"> <li>農地は不採算で趣味的な農業しかできない。高齢化と獣害で年々農地は減っている。採算の合わない農地を持っているのであれば、倉庫や家を建てたい。</li> <li>地区の 94.5% が森林であるが、手入れできていない。森林組合に管理を依頼されるケースもあり、間伐が必要等の判断をし、国庫、県単、自己負担等について説明するが、説明までで終わる場合が多い。</li> <li>空家が増加している。</li> <li>国道 166 号バイパス、国道 422 号の整備を早期にお願いしたい。</li> <li>田引トンネルを出たところで、櫛田川の護岸工事（嵩上げ）をして欲しい。土砂堆積で河床が上がっており、下げる必要がある。</li> <li>整備中のバイパスの下の法面は、市で買ってもらって、桜、紅葉を植える計画がある。法面の緑化に市の支援、補助が受けられないか。</li> </ul>								

## 2. 地域の課題

### (1) 土地利用の課題

- ✓ 地域の土地利用の大半を占める農地・森林の荒廃が進んでおり、森林組合の活用など担い手の確保を含めた保全方策が必要である。

### (2) 交通体系の課題

- ✓ 国道166号と国道422号が主な幹線道路であり、国道166号においては冠水で通行止めになるところが数箇所あるため、国道166号バイパスの早期整備が求められている。
- ✓ 国道422号は林道から国道に昇格した路線のため、幅員が狭く対向できないため、拡幅整備が求められている。

### (3) 公園・緑地及び自然的環境の課題

- ✓ 本市の野外レクリエーション拠点の一つとして林間キャンプ場が立地しており、市民の野外活動体験の拠点として一層の活用が必要である。

### (4) 河川・海岸、下水道の課題

- ✓ 田引トンネル出口付近の集落で台風の際に浸水が起きており、護岸工事（嵩上げ）や、堆積した土砂の浚渫などの対策が必要となっている。

### (5) 集落地整備の課題

- ✓ 十分な隣棟間があるため火災の延焼の心配はないが、空き家が増加しており、その対策が必要である。

### (6) 安全・安心のまちづくりの課題

- ✓ 適切な間伐等の管理を行わずに、森林を放置し、林内に草が生えない状態で放っておくと山は崩壊するため防災の側面からも適切な管理を促進する必要がある。
- ✓ 農地・森林への獣害が増加しており、対策が必要である。

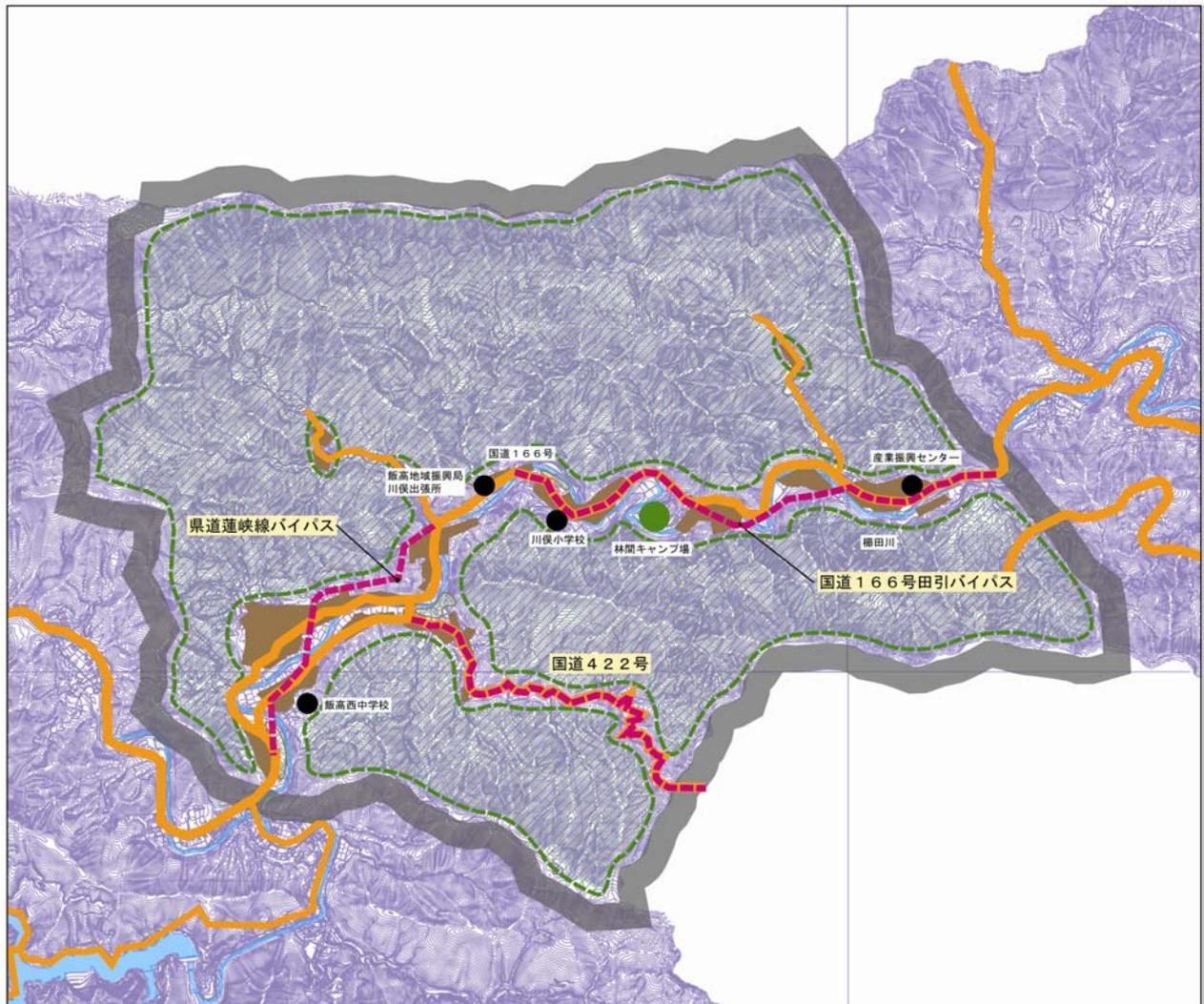
### (7) 景観形成の課題

- ✓ バイパス沿線への桜、紅葉の植樹などが予定されており、緑化に対する支援が求められている。

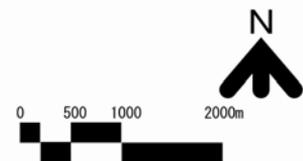
### (8) 観光のまちづくりの課題

- ✓ 観光資源として田引天神等とその周辺の紅葉・桜があり、アマゴの養殖がある。三峰山、熊が池などへの登山客は多く、これらを活用した地域の活性化が期待される。

● 櫛田川上流川俣地域 地域別整備課題図



-  集落地としての生活環境を高める必要性が高い地区
-  農地として保全する必要性が高い地区
-  森林として保全する必要性が高い地区
-  主な道路
-  バイパス整備及び改良区間
-  主な公園・レクリエーション施設
-  主な河川・水面
-  地区区分界



## 2 地域別構想

### 1. まちづくりの目標と主要な柱

国道 166 号及び 422 号の整備促進を図ることによって、生活環境の向上や他地域との連携を強化するとともに、集落環境、農地・森林の保全に努め、交流とくつろぎの里づくりをめざす。

○まちづくりの主要な柱

幹線道路の整備促進
集落環境の保全
森林の保全
農地の保全

### 2. まちづくりの基本方針

#### (1) 土地利用の方針

- 飯高町田引、栗野、富永、宮本、七日市などに「集落環境保全地区」を配置する。
  - ✓ 「集落環境保全地区」では、集落環境の維持増進に努める。また、増加する空き家は、その対策に努める。
- 集落を取り巻く森林は「森林保全地区」として配置する。
  - ✓ 荒廃が進む森林は、森林組合の活用などを含めた保全方策に努める。
- 集落周辺の農地は「農地等保全地区」として配置する。
  - ✓ 「農地等保全地区」では、農地の保全に努める。

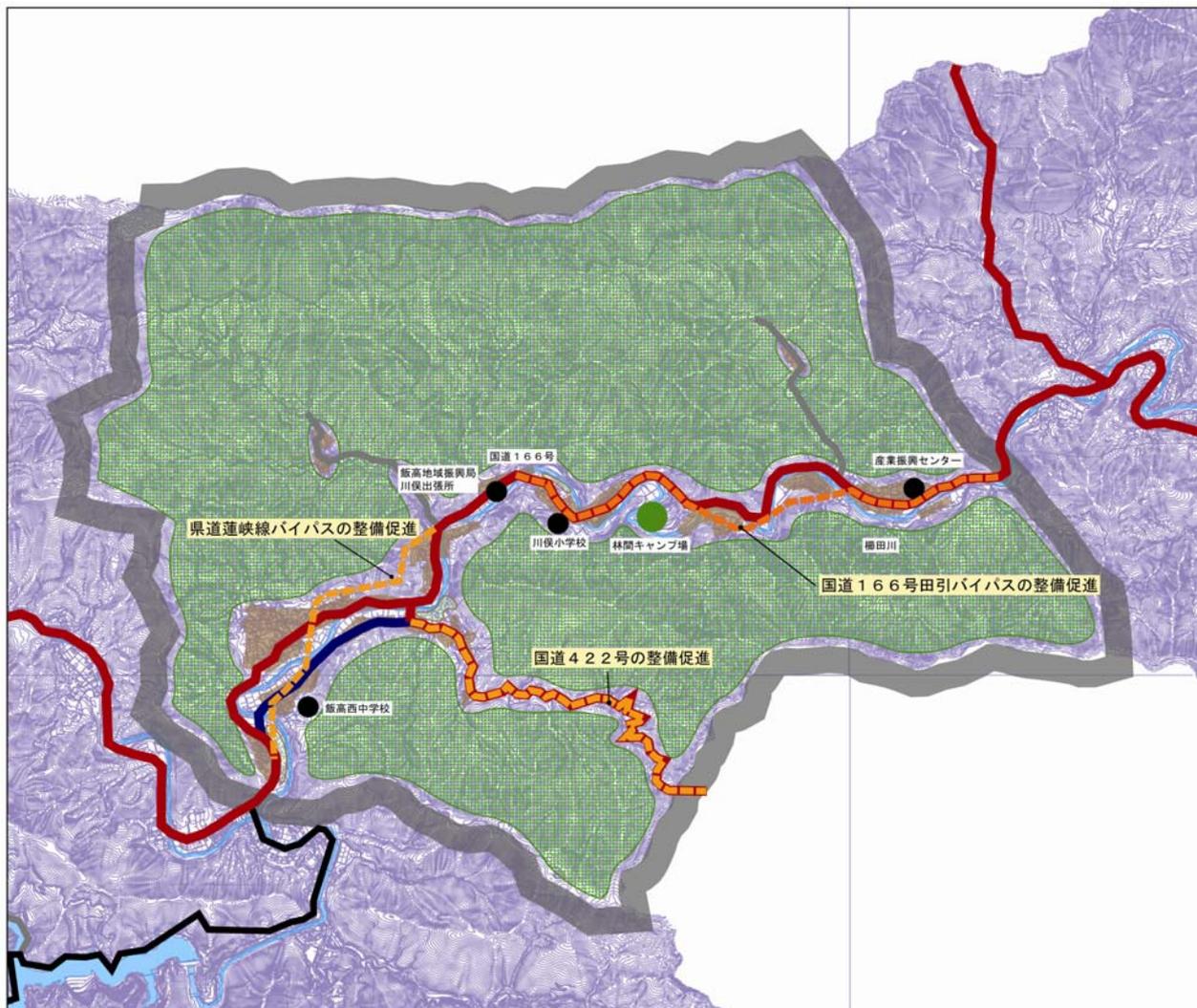
#### (2) 都市施設及び地区施設等の整備方針

- ✓ 田引など冠水による通行止め区間の解消のため、主要な幹線道路である国道 166 号バイパスの早期整備促進に努める。
- ✓ 幅員が狭く対向できない国道 422 号は整備の促進に努める。
- ✓ 本市の野外体験活動の拠点の一つである林間キャンプ場は、一層の活用促進に努める。
- ✓ 台風時に浸水被害が発生する集落地周辺は、櫛田川の護岸整備や堆積土砂の浚渫などの浸水対策の促進に努める。
- ✓ 生活環境の保全に向けて、自然環境に配慮した治山・治水事業を促進する。
- ✓ 櫛田川等の公共用水域の水質保全のため、合併処理浄化槽の普及を促進する。

### (3) 地区環境等の保全に関する方針

- ✓ 放置された森林の崩壊を防止するため、防災の側面からも適切な管理促進に努める。
- ✓ 農地、森林への獣害対策の促進に努める。
- ✓ バイパス法面への桜、紅葉の植樹などによる緑化、田引天神等とその周辺の紅葉・桜、アマゴ養殖場、三峰山、熊が池の水芭蕉などを活用した地域の活性化の促進に努める。

● 櫛田川上流川俣地域 整備構想図



記号	凡 例	記号	土 地 利 用
	広域幹線道路		低層住宅地
	幹線道路		中低層住宅地
	補助幹線道路		一般住宅地
	主な生活道路		住商複合地
	鉄道・駅		近隣商業地
	主な公園・レクリエーション地区		商業地
	主要公共施設等		商工複合地
	主な河川・水面		住工複合地
	市街化区域界		工業地
	地区区分界		集落環境保全地区
			農地等保全地区
			森林保全地区

